

# 英語科学習指導案

日 時 平成22年10月13日(水)  
学 級 1年A組(男子13名、女子14名、計27名)  
会 場 IUC(国際理解教室)  
授業者 高橋 敦(T1)・Andrew Burt(T2)

1 単元名(教材名) Unit 7 カナダの学校 ～Part 3 カナダの中学校～  
(NEW HORIZON English Course 1 P 62)

## 2 単元(教材)設定の理由

### (1) 教材や指導価値について

本単元では、言語材料として、疑問詞を用いて表現する学習が中心となる。コミュニケーション活動の中で様々な疑問詞を用いることで、自分が関心のある事柄などをより幅広く表現できることを感じ取らせたい。

内容としては、グリーン先生の弟のビルが、カナダの学校の様子を紹介する場面である。自己紹介をした後に、生徒たちによるインタビューが続く。時刻や天気を聞いたり、who や how many、how long などの疑問詞を扱うことで、より多様な表現が可能になり、コミュニケーションの幅が一段と広がると思われる。また、外国の学校制度についても学べる構成になっており、文化の違いに関心を持たせたい。

### (2) 生徒の実態

全体的に明るい雰囲気、みな協力的である。ペア活動などには意欲的に取り組むが、音読などの表現活動では、やや声が小さい。この単元での学習を通して、言語活動に積極的に取り組むことによって、より自信を持って表現できるように意欲を高めたいと考える。

## 3 単元の指導目標

- (1) 疑問詞を使った英文を、積極的に使おうとしている。【関心・意欲・態度】
- (2) 適切な疑問詞を使って、相手の学校生活について質問することができる。【表現の能力】
- (3) 疑問詞を使った文を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。【理解の能力】

## 4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語についての知識・理解
学んだ表現を積極的に使おうとしている。	適切な疑問詞を使って質問・応答している。	英文を聞いたり読んだりして、その内容を理解している。	疑問詞を使った疑問文の語順を理解している。

## 5 単元の指導計画と評価規準 (Unit 7 全8時間)

時	学習目標	評価規準	評価方法
1	whoを使った文の意味や用法がわかる。	疑問詞whoを使って、第三者のことについて応答している。	発表の内容 記述の確認 自己評価
2	whoの使い方に慣れ、本文の内容がわかる。	本文を読んで、ビルとはだれなのか、とらえている。	記述の確認 自己評価
3	時刻や天気を尋ねたり答えたりできる。	What time～? やHow～? を使って、簡単なインタビューをしたり、それに答えている。	発表の内容 記述の確認 自己評価
4	各地の時刻や天気がわかる。	ビルへのインタビューを読んで、内容をとらえている。	記述の確認 自己評価
5 本時	外国の学校生活についてわかる。	本文を読んで、カナダの中学校における一日の授業時間数とその授業の長さについて理解できている。	記述の確認 自己評価
6	新出語句や、放課後の活動がわかる。	本文を読んで、ビルが放課後にすることを理解できている。	記述の確認 自己評価
7	学校を紹介する英文を書くことができる。	自分の学校の情報をまとめ、英文で適切に書いている。	記述の確認 自己評価
8	単元のまとめ(練習)	さまざまな疑問詞を区別し、語順や答え方を理解できている。	記述の確認 自己評価

## 6 本時について

### (1) 本時の指導目標

- ① 理解の能力 ・カナダの中学校について書かれた本文の内容を理解し、質問に答えている。
- ② 表現の能力 ・適切な疑問詞を使って、相手の学校生活についての質問をしている。

### (2) 本時の指導過程

本時は、カナダの学校生活が話題になる。本文の読み取りについては、口頭での導入を行った上で自力読解を促す。その後で、本文の内容についての質問に答えさせる。

音読練習では、意味のまとまりを意識させた上で十分な口頭練習を行い、暗唱に近づけたい。さらに、自分の学校のことを述べたり、相手の学校生活について質問することを通して、表現力の向上を図りたい。

また、「シラバス」を用いて学習の見通しを持たせ、何を学習するのか、何を身につければよいのかを示した上で、学習を進めていきたい。さらに、自己評価や復習と連動した「学習のサイクル」の確立を図り、本校の目指す「自ら学び、自ら修める生徒の育成」につなげたい。

### (3) 本時の評価規準

観点	具体的評価規準	評価方法	
			○B「おおむね満足できる」と判断される ☆Bに到達しない生徒への支援
理解の能力	・本文の内容を理解し、内容に関する質問に正しく答えている。	観察・ 記述の内容	○英文を読んで、内容を理解できている。 ☆質問の内容を確認し、本文の意味を考えさせる。
表現の能力	・適切な疑問詞を使って、相手の学校生活についての質問をしている。	観察・ 発表の内容	○質問を考えたり、発表したりする。 ☆疑問詞の意味や語順に注意して、再度考えさせる。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	○研究に関わる留意点 ◇評価 ■教具
導入 10分	1. 既習事項の復習	・ How many～? の文と応答	■電子黒板
	2. 学習の見通し【シラバス】	・ 学習内容を確認する	○シラバス (学習内容の確認)
	3. 学習課題の設定	・ 口頭で説明・導入する	■PC
<b>【学習課題】 中野中とビルの学校との違いを読みとろう</b>			
展開 35分	4. 本文の内容理解 (1) 概要把握	・ モデルを聞く (T2) ・ ビルへの質問を確認する Q1: How many classes do you have each day ?	・ 疑問文の語順を説明する
	(2) 読み取り	Q2: How long are the classes? ・ 本文を読み、答えを確認する A1: We have six each day ~. A2: They're fifty minutes long.	◇記述の様子 (理解の能力)
	(3) 内容確認	・ もう一度読み、日本との違いを見つける ・ 詳しい内容を確認する (T-F、Q&Aなど)	◇挙手で確認 (理解の能力)
35分	5. 音読練習 (1) 新出単語 (2) 本文 (3) 発表	・ モデルを聞く (T2) ・ 全体→個人 (ペア) で練習 ・ 暗唱を目指して練習する ・ お互いに発表し、評価しあう	■FC (T2) ・ 発音・強勢・区切り等を確認する
	6. 発展	・ "So we move quickly." の理由を考える ・ グループで、中野中の紹介とビルへの質問を考えて発表する	・ 外国の学校生活について (T2) ■電子黒板 (写真) ◇観察、発表 (表現の能力)
終末 5分	7. 自己評価【シラバス】 8. 課題の確認、次時の予告		○シラバスに記入 (自己評価・感想) ・ 課題の指示 (音読・ワーク)